

JELLY BEANS Group

2025年1月期決算説明資料

2025.3.14

小売事業における不採算店舗の縮小、EC事業拡大のための施策に注力。

店舗を1店舗閉店（天王寺MIO店閉鎖による閉店）、1店舗開店（表参道店）
1月末での直営店舗数は、有楽町マルイ店、上野本社店、表参道店の3店舗となった。

EC事業の売上は、498百万円、売り上げ全体に占める割合は59.9%まで上昇。

多角化戦略として、事業領域の拡大のに向けた動きはいったん整理し準備を整える。

主力である婦人靴以外の事業「その他事業」では、美術品販売等の事業については収束させ、
スポーツ事業をスタートさせ、拡大に向けた準備期間とした。

継続した資金調達の実施、新たな事業パートナーとの取り組みの準備。

第三者割当による新株式及び第4回新株予約権の発行し、資金調達を実施。（2024年8月22日の臨時株主総会で決議）

複数の企業と業務提携の実施、M&A、子会社立上げなど今期（2026年1月期）に向けた取り組みの準備を大きく進めている。

決算概要 連結P/L

(百万円)	23/01期	24/01期	25/01期	前年同期比
				増減額
売上高	1,393	919	831	△ 88
売上総利益	834	531	409	△ 122
売上比	59.9%	57.8%	49.2%	-
販管費	1,469	1,105	929	△ 176
売上比	105.5%	120.2%	111.8%	-
営業利益	△ 634	△ 573	△ 519	54
経常利益	△ 671	△ 578	△ 532	46
特別利益	-	3	3	-
特別損失	15	16	16	0
親会社に帰属する	△ 697	△ 596	△ 519	77
当期純利益				
1株当たり当期純利益 (円)	△ 80.68	△ 54.68	△ 33.37	-

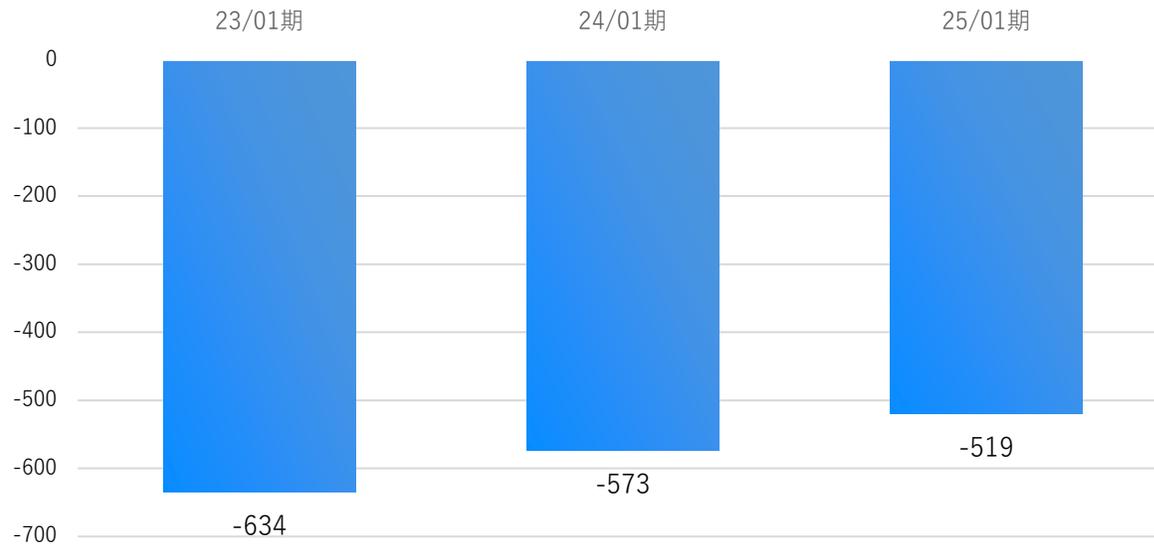
売上高：EC事業に注力しており、EC事業の売上高は全体に占める割合が59.9%と売上高は前年同期比2.9%減の474百万円となった。

販管費：店舗の閉店、広告宣伝費の圧縮などの効果により前年同期比176百万円減少した。

営業利益：前年同期比△573百万円から54百万円改善し△519百万円となった。

決算概要 連結P/L 営業利益の改善

営業利益推移（百万円）



2023年/01期より徐々に営業利益の赤字幅は改善傾向にあります。

当社では主軸となる婦人靴事業の売上向上と業務効率化、新規事業による新たな売上の増加を見据えさらに営業利益の改善に努めます。

**前年同期△573百万円から54百万円改善し△519百万円
今期（2026年1月期）はさらに営業利益の改善に向け注力**

決算概要 セグメント実績（全体）

（百万円）	23/01期	24/01期	25/01期	前年同期比	
				増減額	増減率（％）
■ 売上高	1,393	919	831	△ 88	△ 9.6
卸売事業	88	—	—	—	—
小売事業	693	366	303	△ 63	△ 17.1
E C 事業	603	552	498	△ 54	△ 9.8
その他事業	8	0.6	29	28	4733.5
■ 営業利益	△ 634	△ 573	△ 519	54	—
卸売事業	5	—	—	—	—
小売事業	△ 116	△ 8	△ 23	△ 15	—
E C 事業	72	48	7	△ 41	—
その他事業	-8	△ 23	△ 28	△ 5	—
調整額	△ 588	△ 589	△ 474	—	—

卸売事業：2023年1月期をもって撤退しており、一部の取引先と取引が継続しているものの、金額的に小さいことから前期より小売事業に含めて記載。

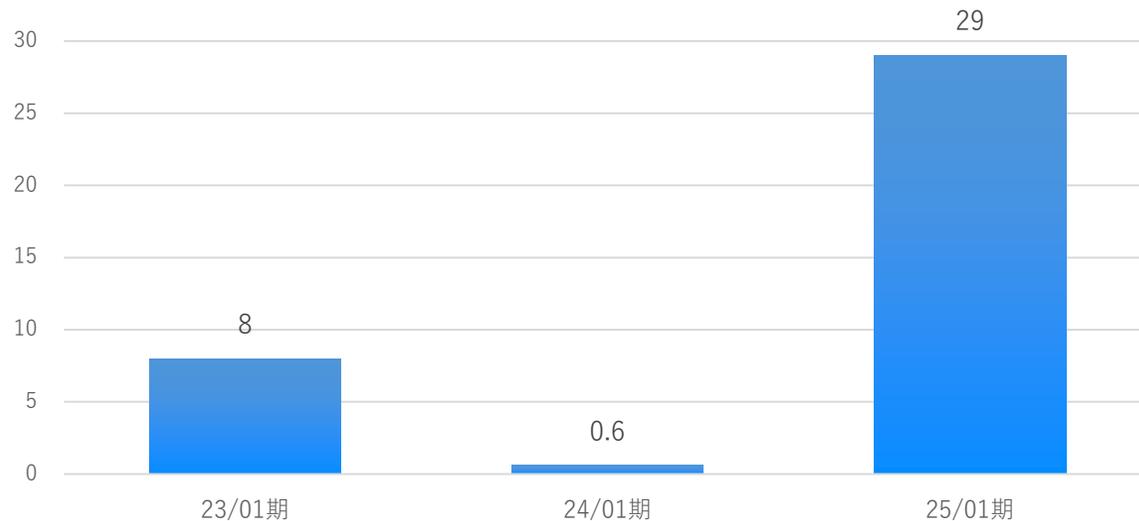
小売事業：一部閉店店舗の影響、既存店の売り上げ減少が影響し、今期は前年同期比82.9%の303百万円となった。

EC事業：SNS販促の強化、広告販促費の最適化を準備を図りながら取り組んだが、まだまだ反映されるには時間が必要で減収減益となった。

その他事業：新規事業としてスポーツアパレル等を展開をスタート、売上規模は小さいが次期への準備した。

新規スポーツアパレル事業の展開をスタート
今期（2026年1月期）より国内販売代理権を取得した海外ブランドの
販路拡大など売上の増大を目指す。

その他事業の売上高（百万円）



世界7000拠点を展開するバスケットボール、ランニングシューズのブランド「スリーシックスティワンディグリー」、2024韓国Kブランドアワードを受賞した人気ゴルフブランド「RollingRolleye」の国内販売を準備しております。

決算概要 セグメント別（小売事業）

（百万円）	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
百貨店	11	14	14	12	14	16	11	10	11	11	14	13	151
直営店	10	15	18	14	15	18	9	9	11	11	10	10	152
小売事業合計	21	29	32	26	29	34	20	19	21	22	24	23	303
前年比	75.8%	67.3%	99.5%	88.8%	92.2%	101.4%	84.6%	72.9%	63.6%	74.3%	86.9%	91.6%	82.9%
直営店舗数	3	3	3	3	3	3	2	2	3	3	3	3	-
前年 直営店舗数	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	-



表参道店の開業

直営店舗は有楽町マルイ店、上野本店、天王寺MIO店の3店舗となっていたが、2024年7月に天王寺MIO店が閉鎖ととなった一方、2024年10月にナラカミーチェ青山店内にジェリービーンズ表参道店を開店。現在百貨店の店舗数は7店舗となっている。

決算概要 セグメント別（EC事業）

（百万円）	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
自社EC	15	19	31	29	19	21	13	14	14	19	19	18	229
モール系	22	34	34	23	25	24	14	17	17	18	24	17	269
EC事業合計	37	53	65	52	43	45	26	31	31	37	42	35	498
前年比	122.0%	79.2%	125.6%	154.2%	82.6%	86.6%	87.2%	63.8%	68.1%	76.6%	109.3%	65.4%	90.2%



EC事業強化のための品揃え改善 パク・ユチョンさんをアンバサダーに起用した 新感覚EMSシューズの販売

より深度のある顧客分析により、これまでのパンプスを主体とした品揃えからカジュアルラインのスニーカーやサンダルの品揃えを強化。オフィシャルで使用するパンプスだけではなく、カジュアルシーンで活躍するアイテムのバリエーションを増やすことで、買い上げ点数増による客単価増に注力している。また新しい試みとして、新感覚EMSシューズJELLY BEANS SPORTS「RE:BOOST」を発売。EMSを履く、いつでもどこでもケアできるという新しいスタイルの提案商品。

決算概要 連結B/S

(百万円)	23/01期	24/01期	25/01期	前期末比
				増減額
資産の部				
資産合計	647	596	628	32
流動資産	552	566	614	48
現金及び預金	312	310	265	△ 45
受取手形及び売掛金	96	86	70	△ 16
商品及び製品	109	133	155	22
その他	34	36	77	41
固定資産	94	29	14	△ 15
有形固定資産	—	—	—	—
無形固定資産	14	—	—	△ 14
投資その他の資産	80	29	14	△ 15
負債の部				
負債合計	530	482	423	△ 59
流動負債	266	254	247	△ 7
支払手形及び買掛金	29	16	33	17
1年以内返済予定の長期借入金	33	33	33	0
株主優待引当金	70	83	69	△ 14
その他	133	121	112	△ 9
固定負債	263	228	175	△ 53
純資産の部				
純資産合計	116	113	205	92
株主資本	86	84	170	86
その他の包括利益累計額	20	22	—	—
新株予約権	10	7	35	28
負債純資産合計	647	596	628	32

決算概要 財務の安定強化

新株予約権の発行による資金調達の実施を行い、資本の充実を図り、成果を残してきた。

2025年1月末時点での純資産の残高は205百万円となり昨年度よりも**92百万円純資産が増加**となった。

※2025年3月には予約権行使による4.5億円の調達により純資産、キャッシュフローが更に安定

(百万円)	23/01期	24/01期	25/01期
短期借入金	—	—	—
1年内返済予定の長期借入金	33	33	33
長期借入金	214	181	148
有利子負債 合計	247	214	181
現預金	312	310	265

(百万円)	23/01期	24/01期	25/01期
資本金	1,338	1,635	1,926
資本剰余金	1,261	1,558	1,848
純資産合計	116	113	205





株式会社JBロジスティクスの新規設立

株式会社JBロジスティクスの新規設立

2025年1月31日開催の取締役会において子会社を設立することを決議し株式会社JBロジスティクスを設立いたしました。

会社名	株式会社JBロジスティクス	
代表者	牧井幸一	
資本金	9,000,000円	
出資比率	当社100%	
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none">・貨物利用運送業・倉庫業及び倉庫管理業務・鉄道運送業・海上運送業・航空運送業・物流コンサルティング業他	
上場会社と当該会社との関係	資本関係	当社100%出資の子会社となります。
	人的関係	当社取締役の宮崎、林が取締役に、当社監査役の絹井が監査役に就任しています。
	取引関係	新会社のため該当事項はありません。

昨年から物流業界が2024年問題を皮切りに再編が進む中、大手家電量販店などを筆頭に倉庫、物流の共同管理が加速的に進行しております。

長年、婦人靴を取り扱った当社にも同業種や婦人向けのアパレルやファッション関連のEC等での物流の共同運営の依頼やリーディング依頼が多いことから、このほど物流子会社を設立し、婦人小売り業者の取りまとめを物流の側面から手掛けることにより、当社の商品、事業の拡大を目指すことといたします。

株式会社JBロジスティクスの新規設立

当社をはじめ、複数企業の商品を共同倉庫にまとめて在庫管理。
さらに共通の物流システム運搬し物流全体の効率の向上を図ります。



業界全体での効率化を進めコスト削減や人手不足の解消へ

株式会社Gold Starの子会社化

株式会社Gold Starの子会社化

2025年2月6日付の取締役会において
株式会社Gold Starの株式100%を取得し子会社化を決議。

会社名	株式会社Gold Star
代表者	尹 炯植
資本金	9,000,000円
主な事業内容	・食料品等の輸出入及び卸売、小売業 ・飲食店の経営等

取得株式数、取得価額、取得後の所有株式の状況

取得株式数	900株（議決権数の数：900個）
取得価額	株式取得価額：総額400,000,000円
異動後の所有株式数	900株（議決権数の数：900個）（議決権所有割合：100%）

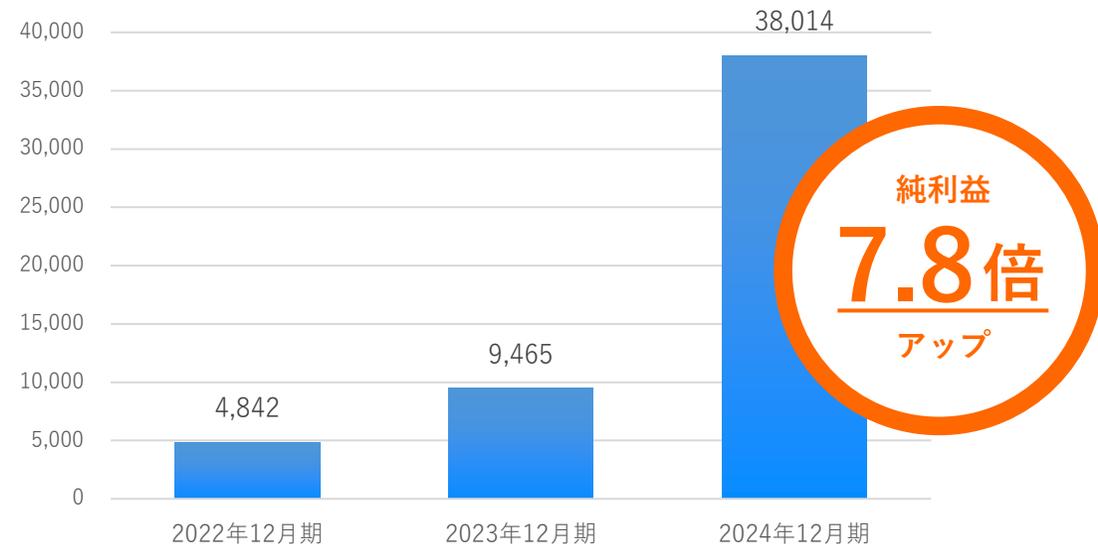


Gold Star社の商品は、近年の韓国食品が大流行している日本市場の取引においてクリーミーヨーグルトボールというアイスクリーム商品や10 ウォンパンという商品を中心に大きくヒットさせ、TV、雑誌、新聞などだけでなくSNSでも非常に取り上げられております。

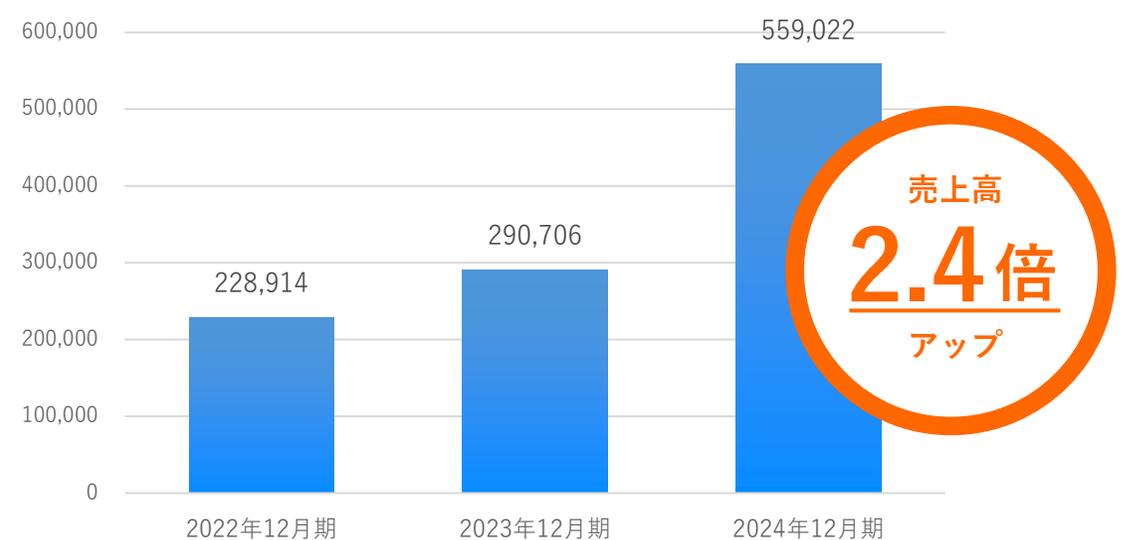
弊社のメインターゲットである女性層の幅を大きく広げることを目的とし、この度新たに、食料品等の輸出入業務に強みを持つ株式会社Gold Star社の株式を取得し子会社化することにいたしました。

イオン、ローソン、セブンイレブン、ドンキホーテなどへの卸売実績。
人気商品が売り切れ続出になるなど着実に実績を残しております。

過去3年間の純利益推移（千円）



過去3年間の売上高推移（千円）



株式会社Gold Starの子会社化 メディア露出事例

YAHOO! JAPAN ニュース IDでもっと便利に新規取得
ログイン ふるさと納税でPayPayポイントもらえる

キーワードを入力

トップ 速報 ライブ エキスパート オリジナル みんなの意見 ランキング

新着記事 | オーサー | クリエイター | コメントーター

【セブイレ】韓国アイスクリーム、日本初上陸！セブンイレブンで販売開始！韓国アイス爆発の人気の理由は？

I Korea U あいこ エキスパート | 韓国関連/鶴橋グルメYouTubeチャンネル
2024/9/13(金) 10:11



韓国関連チャンネルIKOREAUです！

韓国アイスクリーム、日本初上陸！セブンイレブンでついに販売開始

韓国のグルメやスイーツは、日本でも注目を集めています。今回はその中でも特に注目を浴びている韓国アイスクリームが、日本のセブンイレブンに初めて登場することが発表

出典 ヤフーニュース

YAHOO! JAPAN ニュース IDでもっと便利に新規取得
ログイン ふるさと納税でPayPayポイントもらえる

キーワードを入力

トップ 速報 ライブ エキスパート オリジナル みんなの意見 ランキング

新着記事 | オーサー | クリエイター | コメントーター

【韓国スイーツ】「ヨアジョン」って何？韓国式ヨーグルトアイスが大人気 | 日本のコンビニでも買える！

西嶋広美 エキスパート | 翻訳者 (韓国語) / フリーライター
2024/9/9(月) 11:27



クリーミーヨーグルトボール (筆者撮影)

今夏、若者を中心に日本でも話題沸騰中の「ヨアジョン」。「人の名前？」と思った方、大丈夫です。私 (筆者) も最初、そう思いましたので！

韓国では昨年、ヨーグルトをアレンジしたスイーツが人気を博しています。「ヨアジ

出典 ヤフーニュース



Rolling Rolleye 日本総販売権取得について

Rolling Rolleye 日本総販売権取得について



2024 韓国 K ブランドアワードを受賞した 人気ゴルフブランド

ジェリービーンズグループでは
日本総販売権を取得。
今後国内で様々な販路を拡大してゆきます。

世界市場では韓国ブランドの人気の高まり、K-Fashionへの関心が急上昇。アジア市場の成長とK-POP人気の影響で、韓国の一部ファッション企業はグローバルブランドへと成長しています。

Rolling Rolleyeはアメリカ・ニュージャージー、ベトナムに店舗をオープンし、中国、ロサンゼルス、ニューヨークなどへの世界市場進出を準備中。



Rolling Rolleye 日本総販売権取得について



日本初上陸!!

韓国では54店舗、海外2店舗を展開中

直営店: ソウル・江南

ゴルフゾンマーケット: 全国主要都市

免税店: 新羅免税店、新世界免税店

海外店舗: ニュージャージー、ベトナム



ジェリビーンズグループが提携する 各種ECサイトにて先行販売がスタート!



2025年夏には日本オフィシャルサイト公開を予定しております

グローバルスポーツブランド「361°」の国内販売代理店契約締結

361°

ジェリービーンズグループは
世界7000拠点を展開する

361°の日本国内における販売代理店契約を締結。
日本市場におけるブランド展開の拡大を目指します。



361° とは？

香港証券取引所に上場するグローバルスポーツブランド。

世界 70 か国以上で事業を展開。

世界各国に7,000拠点の 361° ブランド店舗及び販売網。

2023 年度の売上高は約 1,800 億円を記録し、前年比 21%の増収を達成。
2024 年度も売上はさらに拡大。

世界的なスポーツイベントでのスポンサーシップを実施



リオオリンピック



アジア大会



サーフシティマラソンUSA



ロンドンマラソン



上海マラソン



ベルリンマラソン

会社分割（新設分割）による子会社の設立を伴う持株会社体制への移行

会社分割（新設分割）による子会社の設立を伴う持株会社体制への移行

持株会社体制への移行と子会社設立

2025年3月13日の取締役会にて、会社分割により新会社「株式会社ジェリービーンズ」を設立し、持株会社体制へ移行することを決議。2025年4月24日の定時株主総会で承認後、5月8日に分割を実施予定。

今後、積極的なM&Aにも取り組んでまいります。

移行の目的

- ・ 2024年の経営体制刷新後、経営基盤強化・企業価値向上を推進
- ・ 婦人靴・雑貨事業に加え、アパレル・コスメ・食品卸事業を展開
- ・ 持株会社体制により、グループ全体の成長と経営監督機能を強化

分割の方式	当社が分割会社となり、新会社「株式会社ジェリービーンズ」を設立する新設分割方式を採用。
株式の割当	新会社は普通株式100株を発行し、すべて当社が取得。

実施スケジュール

2025年3月13日	分割決議取締役会
2025年4月24日（予定）	株主総会承認
2025年5月8日（予定）	会社分割の効力発生

資本金・債務の取扱い	<ul style="list-style-type: none">・ 分割による当社の資本金の増減なし・ 新会社が承継する資産・負債は分割計画書に基づく・ 債務履行の見込みに問題なし
------------	--

JELLY BEANS Group

本資料における将来の展望に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づいておりますが、様々なリスクや不確かさにより、結果が将来の展望と著しく異なることもありえます。